

BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ(取付金具一体型)セット

SAN-40BK1

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

- お使いのBSチューナー(またはBSチューナー内蔵テレビなど)の取扱説明書を、あわせてご覧ください。
- 本機は、BSアナログ放送(従来のBS放送)とBSデジタル放送、110度CSデジタル放送を受信できます。
- BSアナログ放送を受信できれば、アンテナの向きを変えることなく、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送も受信できます。

4-077-472-07(1)

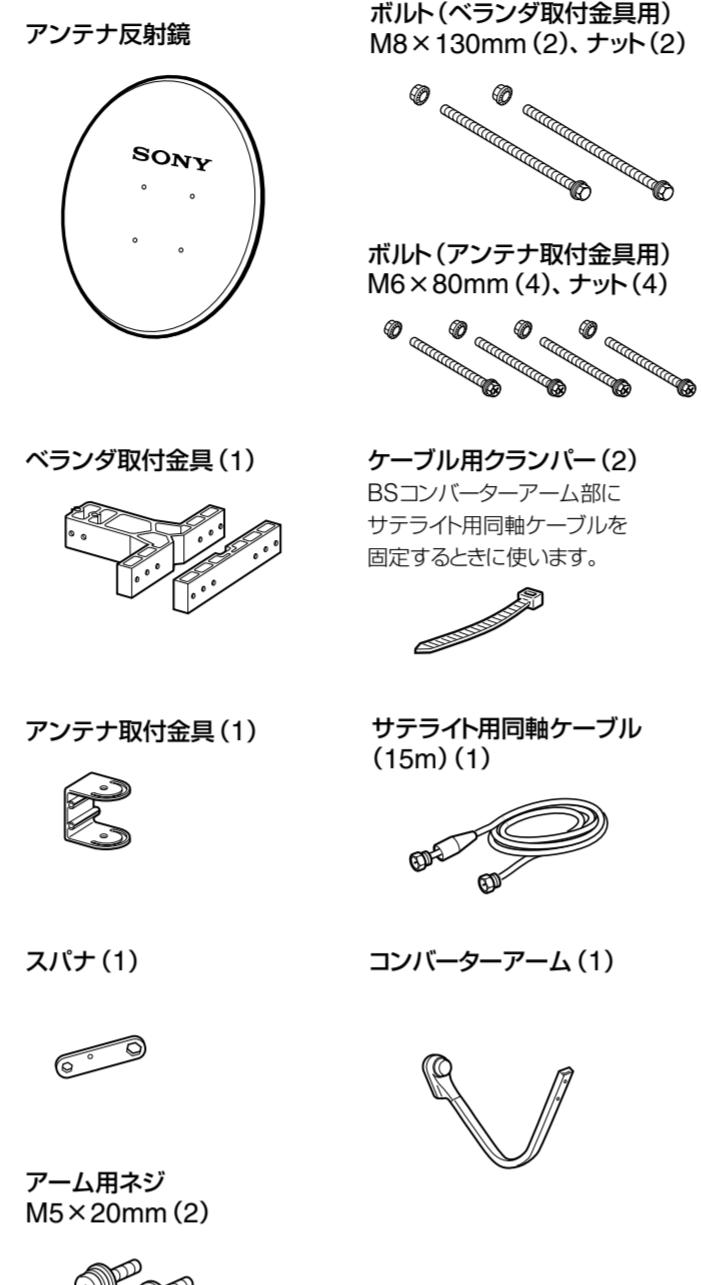


JEITAデジタルハイビジョン受信マークは、(社)電子情報技術産業協会に登録された一定以上の性能を有する受信システム機器に付けられるシンボルマークで、衛星放送及び地上デジタルテレビジョン放送受信用アンテナや機器の性能を証明するものです。

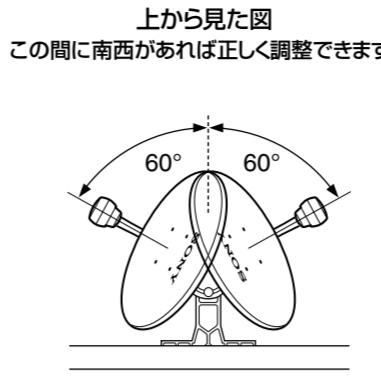
手順1: セット内容を確認する

箱を開けたら、BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-40BK1 のセット内容が、すべてそろっているか確かめてください。

()内の数字は個数です。



また、アンテナは取り付け正面より左右60°の範囲で角度を調整できます。



アンテナ反射鏡

ポルト(ペランダ取付金具用)
M8×130mm (2), ナット(2)ポルト(アンテナ取付金具用)
M6×80mm (4), ナット(4)ケーブル用クランパー(2)
BSコバーターム部にサテライト用同軸ケーブルを固定するときに使用します。

アンテナ取付金具(1)

ケーブル用クランバー(2)
BSコバーターム部にサテライト用同軸ケーブルを固定するときに使用します。

スパナ(1)

コンバーターアーム(1)

アーム用ネジ
M5×20mm (2)

スパナ(1)

手順2: 設置場所を決める

BS放送をお楽しみいただくために、アンテナを衛星の方向に合わせて正しく設置する必要があります。

アンテナ使用地域について

雨の影響がない状況下では、地図の□で囲った地域で、このアンテナで受信できます。

■この地域では50cm径のBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-50B1 のご使用をおおすすめします。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

本機(SAN-40BK1)の使用可能地域

110度CSデジタル放送受信についてのご注意

- 九州北部および山口県では、アンテナの方向調整が不十分なときに、韓国で利用している衛星から干渉を受けることがあります。BS放送は受信できるのに、110度CSデジタル放送が受信できないときは、アンテナをわずかだけ(アンテナの端が約5~10mm動く位)西に向けると110度CSデジタル放送も受信できることがあります。
- 対馬や五島列島では、韓国が利用している衛星の干渉が強いため、40cm径のアンテナでは使えません。50cm径のBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-50B1 をお使いください。

付属以外の別売りアクセサリーなどで設置する場合

ペランダ設置例
市販のコンクリート手すり取付金具

屋根設置例
市販の屋根馬

壁面設置例
市販のボ

手順4: アンテナを組み立てる

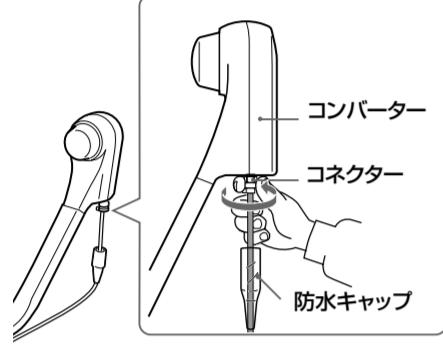
同軸ケーブルをコンバーターアームにつなぐ

ご注意
高い周波数の信号を伝送するため、必ず付属または別売りのサテライト用同軸ケーブルを使ってください。それ以外のケーブルをつなぐと故障の原因となります。付属ケーブル（約15m）の長さが合わないときは、別売りのサテライト用同軸ケーブルをお使いください。

ショート防止のため、BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）やブースターなどの電源コードは、壁のコンセントから抜いてください。
アンテナのコンバーター電源のショートを防止するためです。テレビやチューナーの電源が入っていない場合、それらの電源コードが壁のコンセントになかっているだけで、ショートします。

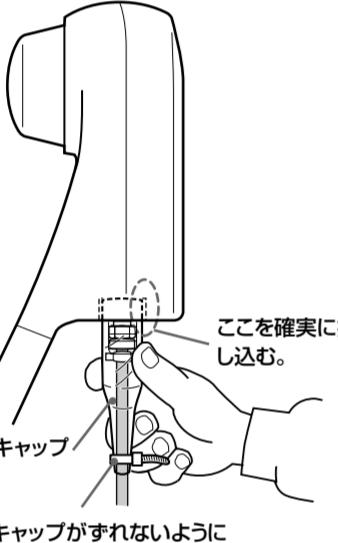
1 サテライト用同軸ケーブルとコンバーターをつなぐ。
防水キャップがついている側のコネクターを手でしっかりと締めてください。

ご注意
工具で取り付けると、締めつけ過ぎでケーブルやコンバーター内部を破損することがあります（締付トルク：2N·m（20kgf·cm）以下）。



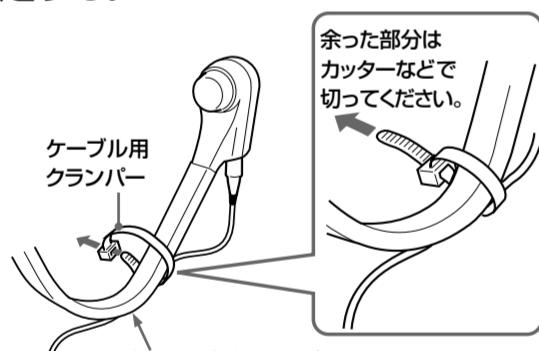
2 防水キャップを確実に押しこみ、下側をクランパーで固定する。

防水キャップがずれると、雨水が入って受信不良になります。



3 ケーブル用クランパーでケーブルを固定する。

ご注意
• ケーブル用クランパーは使いきりです。一度固定するとカッターナーなどで切らなければなりません。
• 同軸ケーブルをペランジの角など尖ったところにケーブル用クランパーで固定しないでください。
同軸ケーブルの内部で断線することがあります。

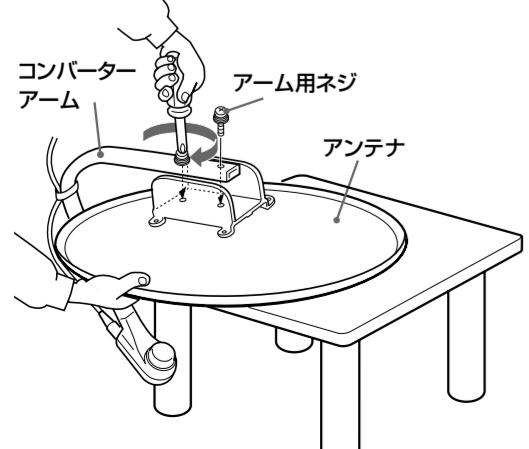


4 サテライト用同軸ケーブルを室内に引き込む。

ご注意
室内への引き込みについて、壁などに加工が必要なときは、必ず専門業者や工事施工者に依頼してください。また、マンションやアパートなどによっては、部屋の加工などに規制のあるところがあります。管理組合や自治会などに必ず確認の上、取り付けください。

コンバーターアームをアンテナに取り付ける

プラスドライバーを使って、アーム用ネジで2か所をとめる。



アンテナにアンテナ取付金具を取り付ける

1 アンテナ背面の穴と取付金具の溝をあわせる。



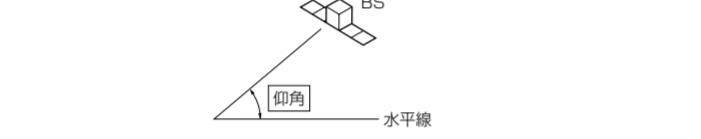
2 二つの穴と溝にボルト（アンテナ取付金具用）を差し込み、ナットを取り付ける。

ボルトが取付金具の溝に正しく入っていることを確認してください。

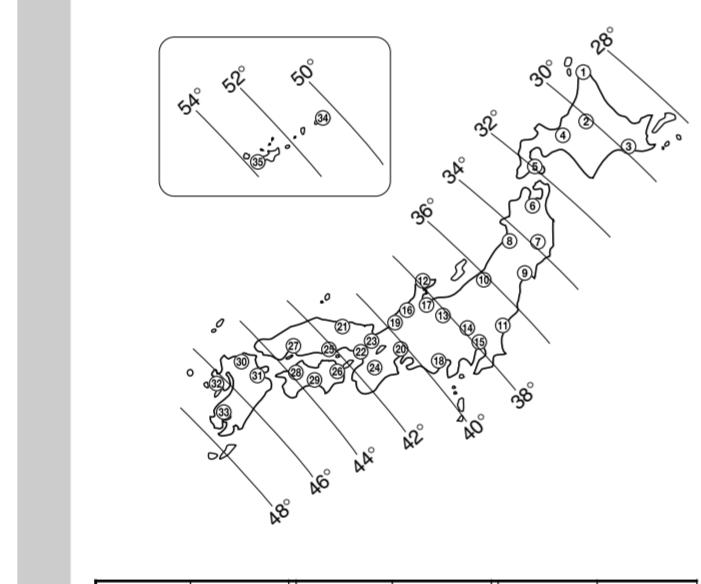


3 アンテナの仰角（上下角度）を合わせる

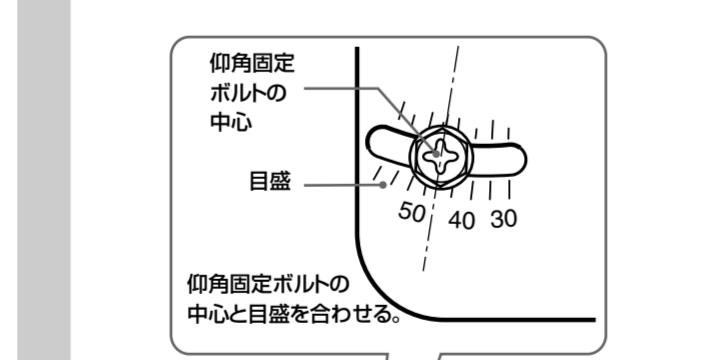
仰角（上下角度）は、地面に対してBSを仰ぎ見る角度です。



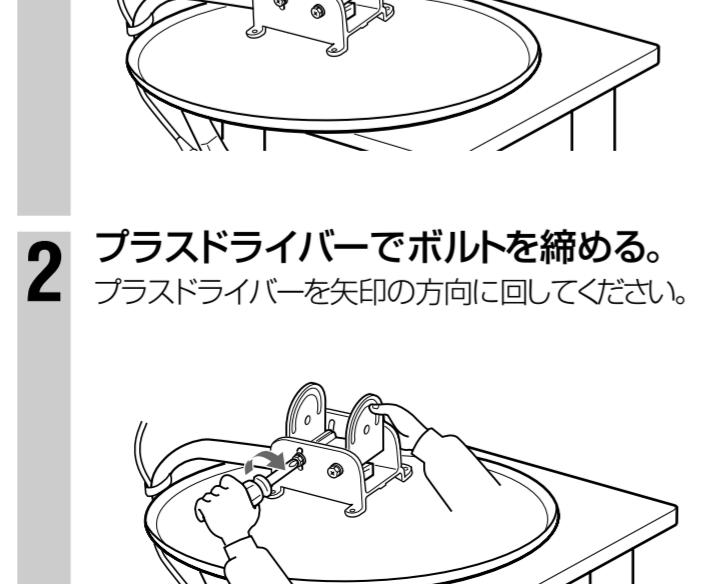
1 仰角固定ボルトをゆるめて、下の図表を目安にして、仰角を合わせる。
仰角固定ボルトの中心と目盛を合わせてください。



地域	仰角(°)	地域	仰角(°)	地域	仰角(°)
①稚内	29	⑨長野	38	⑩岡山	42
②旭川	30	⑩前橋	38	⑪徳島	42
③釧路	30	⑪東京	38	⑫広島	43
④札幌	31	⑫金沢	39	⑬松山	44
⑤函館	32	⑬富山	39	⑭高知	44
⑥青森	33	⑬静岡	39	⑮福岡	45
⑦盛岡	34	⑯福井	40	⑯大分	45
⑧秋田	35	⑯名古屋	40	⑯長崎	46
⑨仙台	35	⑰鳥取	41	⑰鹿児島	47
⑩新潟	36	⑱大阪	41	⑱名瀬	51
⑪水戸	37	⑲京都	41	⑲那覇	54
⑫輪島	38	⑲津	41		



2 プラスドライバーでボルトを締める。
プラスドライバーを矢印の方向に回してください。

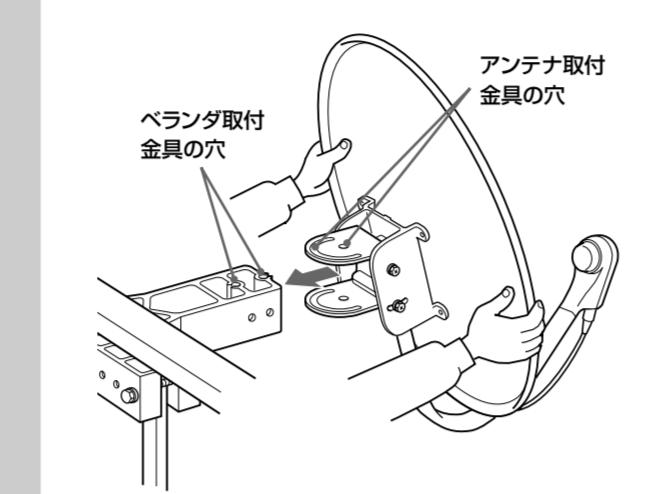


手順5: アンテナを取り付ける

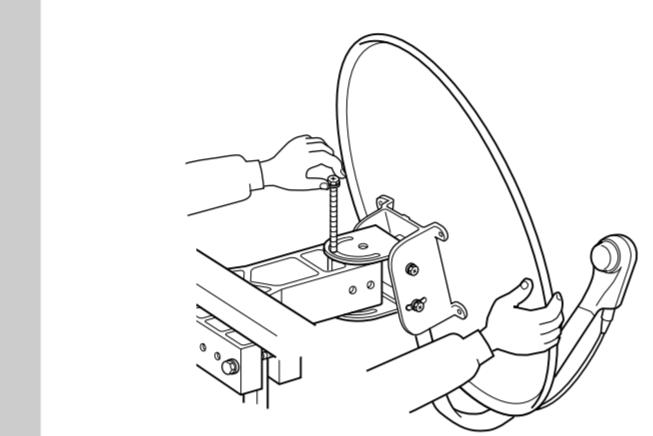
アンテナをベランダ取付金具に取り付ける

アンテナやボルトが落不しないように、充分気を付けて取り付けてください。

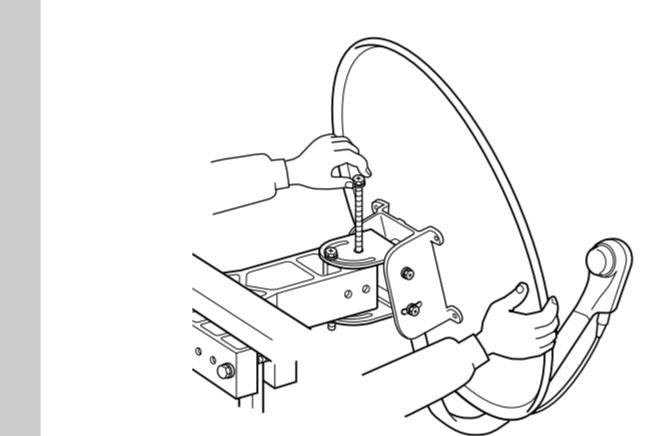
1 アンテナ取付金具の穴とベランダ取付金具の穴をあわせる。



2 ベランダ側の穴にボルト（アンテナ取付金具用）を、下までしっかり差し込む。



3 アンテナ側の穴にボルト（アンテナ取付金具用）を、下までしっかり差し込む。



4 それぞれのボルトにナットを取り付ける。



5 アンテナをゆっくりと左側（南）に回して、受信レベルが大きくなる方向に向ける。

ナットはすべり止め加工された面を上側にして取り付ける。

6 受信設定画面例

アンテナレベル
28 30

現在の受信レベル
最大受信レベルに少しでも近づくようにアンテナを微調整する。

今まで入ってきた電波の中で最大の受信レベル

する。

7 アンテナが動かないよう押さえながら、仰角固定ボルトとポール固定ボルトをスパナでしっかりと締める。

アンテナが動いて、アンテナレベルが変わってしまったときは、再び手順6と7を行って、微調整してください。

スパナを矢印の方向に回して締めます。



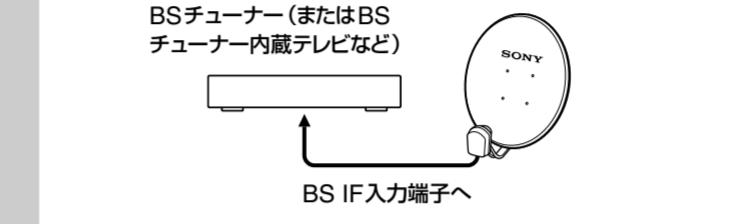
手順6: アンテナの角度を調整する

1 BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の電源コードが、壁のコンセントから抜いてあることを確認する。

△注意
アンテナのコンバーター電源のショートを防止するためです。テレビやチューナーの電源が入っていないなくても、それらの電源コードが壁のコンセントになかっているだけで、ショートします。

2 アンテナとBSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）をつなぐ

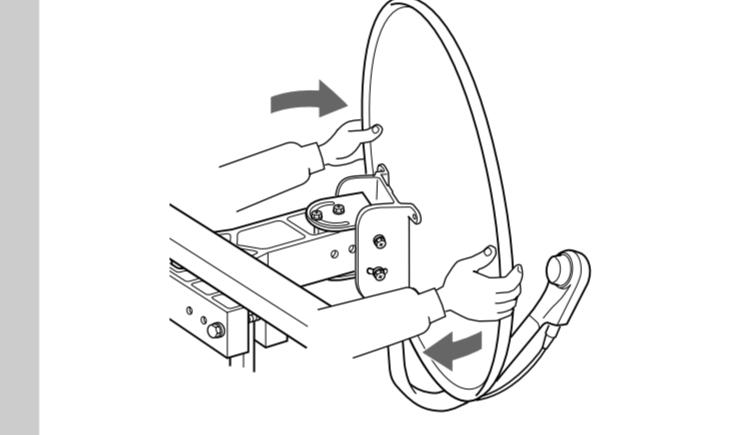
接続のしかたは、BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。



3 BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の電源コードをつなぎ、電源を入れ、BS放送の受信設定をし、BSアンテナレベルの設定画面を表示させる。

詳しくは、BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。

4 アンテナをいったん右側（西）に向ける。



BSデジタル放送のアンテナレベルについて
BSデジタル放送の場合は、多少電波が弱くなても音画や音声が乱れたりすることがないため、映っている画面がいいくら良くても、レベル自体が最大になっているとは限りません。そのため、受信中のアンテナレベルが最も良いレベルで設定できるようするために、次のことをして下さい。

- ・コンバーターに、濡らしてきつつけた薄い布（布巾など）で覆いかけた上でアンテナレベルを調整し直してみる。（雨天時を想定した設定です。）

5 アンテナをゆっくりと左側（南）に回して、受信レベルが大きくなる方向に向ける。



ナットはすべり止め加工された面を上側にして取り付ける。

6 受信設定画面例

アンテナレベル
28 30

現在の受信レベル
最大受信レベルに少しでも近づくようにアンテナを微調整する。

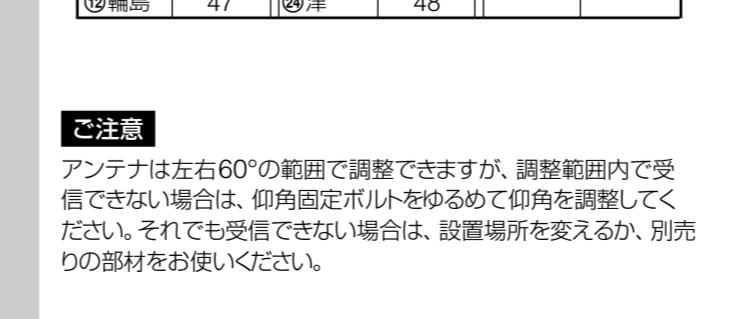
今まで入ってきた電波の中で最大の受信レベル

する。

7 アンテナが動かないよう押さえながら、仰角固定ボルトとポール固定ボルトをスパナでしっかりと締める。

アンテナが動いて、アンテナレベルが変わってしまったときは、再び手順6と7を行って、微調整してください。

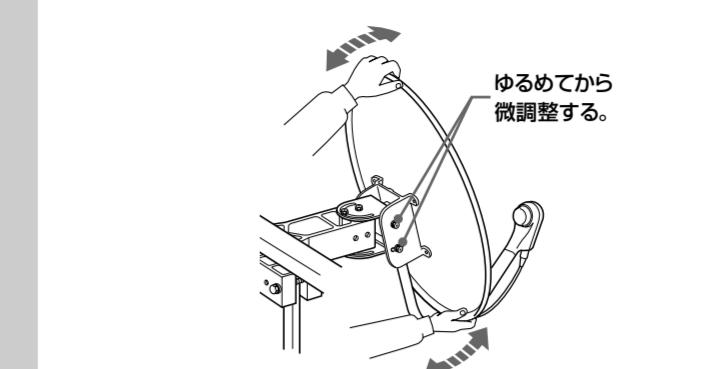
スパナを矢印の方向に回して締めます。



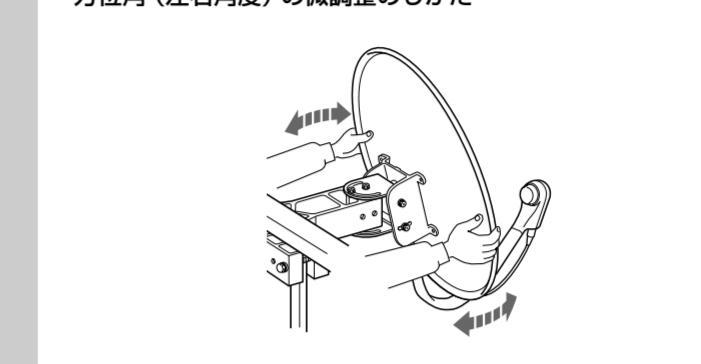
6 受信レベルが少しでも大きくなるよう、アンテナの仰角（上下角度）と方位角（左右角度）を微調整する。

受信レベルの数値は、BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。

仰角（上下角度）の微調整のしかた



方位角（左右角度）の微調整のしかた



受信設定画面例

アンテナレベル

28 30

現在の受信レベル

最大受信レベル

に少しでも近づくようにアンテナを微調整する。

今まで入ってきた電波の中で最大の受信レベル

する。

7 アンテナが動かないよう押さえながら、仰角固定ボルトとポール固定ボルトをスパナでしっかりと締める。

アンテナが動いて、アンテナレベルが変わってしまったときは、再び手順6と7を行って、微調整してください。

スパナを矢印の方向に回して締めます。

仰角固定ボルト

ポール固定ボルト

スパナ

スパナ